

生命科学院 カリキュラム・ポリシー（教育課程編成・実施の方針）

<生命科学専攻>

分子レベルから個体レベルまで種々の生命現象を包括的に理解させ、更に生命科学に関する基礎的研究及び応用の研究に必要な深い知識及び能力を有し、独創的な研究を行うことのできる人材を育成するため、以下の方針によりカリキュラムを編成・実施しています。

修士課程

1. 広範な生命科学分野における研究の進展・深化と、それに伴う社会的要請に即応し、得られた最新の成果をリアルタイムに反映したカリキュラムを編成・実施します。
2. 多様な科目履修を通じて、研究者及び技術者として必要となる基礎的・先端的な知識を修得させ、かつ課題の解決に向けた実践的トレーニングを課すことにより、将来、先端的生命科学の研究及び開発に貢献し得る実践的専門能力を培う教育を提供します。
3. 生命科学や医療科学の発展が社会と調和するために避けては通れない、生命倫理に関する基本知識を修得させます。
4. 研究成果の社会への還元に対する関心の高まりに応えるため、知的財産権に関わる一般的な理論からバイオサイエンスに関する特殊な考え方までを教授するカリキュラムを提供し、研究成果の適切な取扱い、権利化、事業化等の知識を修得させます。
5. 国際性のある人材育成を目指し、英語によるプレゼンテーションスキルを習得・向上させるための教育を提供します。

博士後期課程

1. 問題解決に向けた、より先端的かつ実践的トレーニングを課すことにより、自立した研究者・技術者として高度かつ独創性の高い研究活動を行うために必要な能力を修得させる教育を提供します。
2. グローバルな視点から先端的生命科学の研究及び開発をリードできる人材を養成する教育を提供します。

<臨床薬学専攻>

博士課程

臨床薬学専攻では、その目的に基づき専門性をもった人材を育成するため、以下の方針によりカリキュラム（教育課程）を編成しています。

1. 薬系スペシャリストの養成
2. 疾患解析、治療、創薬研究における倫理・国民目線の重視
3. 高度な専門性に裏付けられた実践的臨床能力の養成
4. 疾患を基盤とする基礎・臨床講義および研究の充実
5. 薬系大学院生の国際交流と地域医療への参加